

TameMIR

— 農業用ため池のリスク把握を支援する走行型監視システムの開発 —

ため池の被害規模

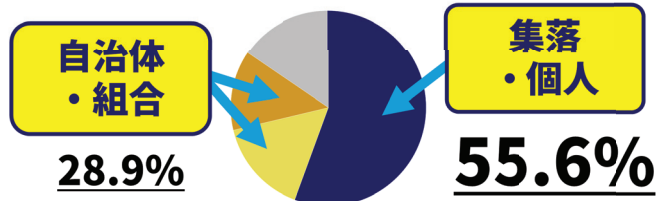
- 平均被害箇所：約**770**箇所/年
- 平均被害額：約**800**億円/年



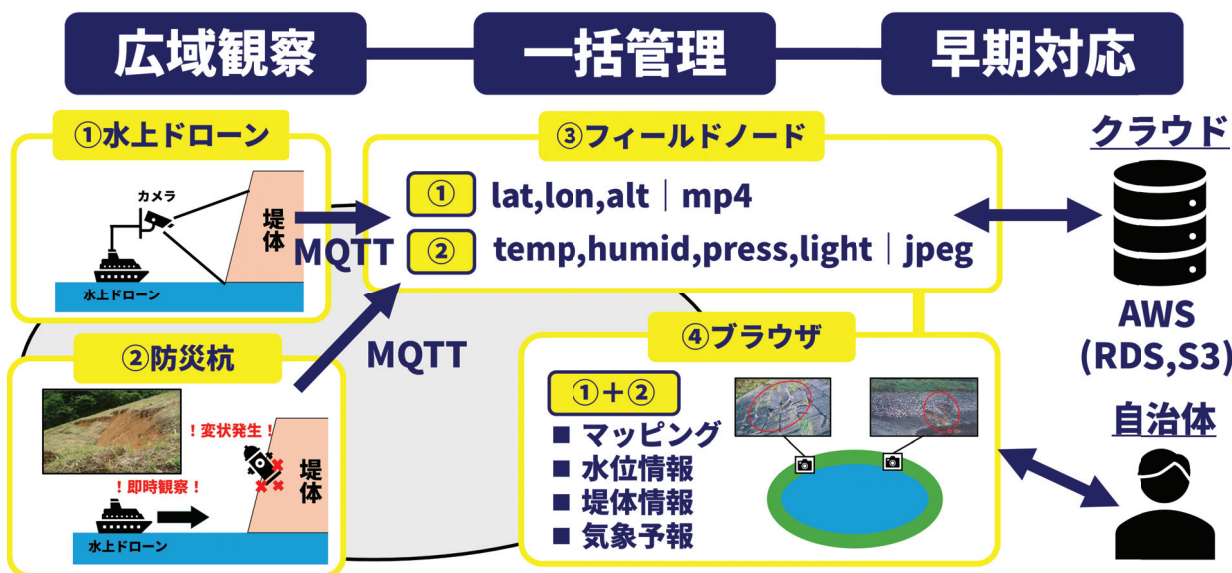
ため池の管理状況

豪雨の頻発に伴う被害増加に対し、管理体制が追い付いていない。

ため池管理者の内訳



決壊リスクを一括管理できる次世代型監視システム



従来製品の比較

項目	従来製品	本製品
監視方式	定点設置型	自動周回型
観測範囲	設置箇所の周辺	ため池全域(≒目視)
結果の表示	写真・グラフ	Webサイト・マッピング

活用した通信技術

- Starlink×MQTT**
山間部でも安定的かつ軽量の通信設計
- CLAS測位方式**
誤差数cmの高精度走行

進捗・展望

- 現段階** 各機器が動作→FNがデータ集約→クラウド(AWS)へ保存→ブラウザにて表示
- 今後** 長期間(1週間)の動作検証、電源管理モジュールの作成、機械学習による分析